

川西市社会福祉法人連絡協議会

(通称：ほっとかへんネットかわにし) について

<ほっとかへんネットとは>

市区町域にある複数の社会福祉法人が、それぞれの持つ専門性を生かし、地域福祉課題の解決に向け、連携・協働する組織です。

兵庫県内では、「ほっとかへん」を合い言葉に、市区町域で「社会福祉法人連絡協議会」を順次設立しています。(令和4年3月現在37市区町)

<ほっとかへんネットかわにしの概要>

ほっとかへんネットかわにしは、平成30年9月12日に設立いたしました。現在、16法人が参加しております。

役員構成は、会長1名、副会長2名、理事2名、監事1名となっております。会議といたしましては、総会が年1回、役員会が年5回程度となっております。

<これまでの取り組みについて>

平成30年度 情報交換会とともに「社会福祉法人による地域における公益的な取り組みについて」との表題で記念講演を実施しました。

平成31年度 ほっとかへんネットの広報のため、のぼり・チラシ・リーフレットを作成し川西まつりに参加しPRを行いました。また、法人連絡協議会として先進的に地域公益活動を実践されている垂水区社会福祉法人連絡協議会の活動を学ぶため講師を依頼しての研修会、福祉避難所の開設と運営について地域福祉課職員を講師としての研修会を実施しました。

令和2年度 地区福祉委員会との懇談会や地域福祉フォーラムへの参加を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で活動できませんでした。

令和3年度 当初は、事務局である社協職員が、各法人を訪問させていただき、地域共生社会の実現に向けた支援体制の構築と社会福祉法人の役割についてお話させていただき、現場の職員のみなさんと今後の取り組みについてお話をさせていただきたいと考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で叶わなかったため、年間2回の研修会を実施させていただきました。第1回目は、昨年7月に変異株も含む新型コロナウイルス感染症の対策について学ぶため、本会の産業医より「新型コロナウイルス感染症対策について」お話をさせていただき

ました。第2回目は、2月に「包括的支援体制構築に向けて社会福祉法人の果たすべき役割」というテーマで川西市地域福祉課の職員の方にお話をいただきました。

<令和4年度の取り組みについて>

1. 協働事業について

令和5年1月10日（火）～1月22日（日）の期間で、16法人によるフードドライブを実施。お寄せいただいた食品を、社協をとおして、希望される子ども食堂実施事業所等へ寄贈します。

2. 広報

川西市社協ホームページに川西市社会福祉法人連絡協議会について掲載します。

3. 研修会

「災害時の対応と福祉避難所の開設について」（仮題）研修会を実施していく予定です。

<加入法人の実施している地域貢献事業例>

カテゴリー	実施内容
相談	子育て相談、保育所入所相談、子どもの育児・発達相談、障がい児（者）相談、一般介護相談、成年後見相談、よろず相談、総合相談
物品貸し出しや設備開放	絵本の貸し出し、車いす・机椅子の貸し出し、子育て支援教室開放、園庭開放、室内開放、地域交流スペースの開放、福祉避難所
職員派遣	出前講座、出張保育、獅子舞
その他	親子で遊ぶ会・親同士の交流会、一時保育事業、コンサート、夕涼み会、地域清掃、老人施設との交流、学習支援、一時保育事業、地域巡回バス、料理教室、こども食堂共同開催、機能訓練通信の発行、学校安全協力員活動に参加、実習生・ボランティアの受け入れ